

# 1 消防の概要

(平成23年4月1日現在)

市町村数	消防本部数		消防一部事務組合構成団体数				消防本部・署	消防本部数		消防水利	消火栓		公設				
	単独	組合	計	市	町	村		数	署数		井戸	その他	設	設			
42	15 (委託2)	7	25	6	18	1	22	46	61	2,683(32)人	20人	2人	1,860人	490人	41,114	645	
面積			10,621.17 km <sup>2</sup>				出張所数		61	消防吏員数(うち女性吏員)		100m <sup>2</sup> 以上		174	60~100m <sup>2</sup> 未満		454
22年国調人口(確定値)			2,081,147人				消防団数		46団	消防長の専任・兼任の別		40~60m <sup>2</sup> 未満		7,176	20~40m <sup>2</sup> 未満		1,920
23.3.31 住基人口			2,076,675人				分団数		453団	兼任(署・課長)		井戸		2,548	その他		1,909
23.3.31 住基世帯数			751,299世帯				非常勤消防団員数(うち女性消防団員)		21,212人(338人)	救急隊員数		化学消火剤備蓄状況		たん白系	3%	1.27kl	
22年火災件数	出火件数		総数	802件		消防ポンプ自動車等	消防本部・署	消防団	普通消防ポンプ自動車		67	435	合成界面活性剤		26.49kl		
			建物火災	417件			水そう付消防自動車		101	4	水成膜泡消火薬剤		1.08kl				
			林野火災	35件			はしご付消防自動車(ポンプ付でない車両を含む)		17	—	水溶性液体用泡消火薬剤		1.13kl				
			車両火災	95件			屈折はしご付消防自動車(ポンプ付でない車両を含む)		5	—	粉末消火剤		第3種	54kl			
			船舶火災	0件			化学消防自動車		19	—	消防用無線局		固定局及び基地局		129		
			その他火災	225件			救急自動車(うち高規格救急車)		144	—	移動局		1,445				
	死者	30人		指揮車		55	19	テレビ監視装置		望楼		2					
	負傷者	107人		救助工作車		33	—	うち24時間体制のもの		—							
	建物焼損床面積	25,091m <sup>2</sup>		小型動力ポンプ付積載車		2	1,023	火災報知専用電話		337回線							
	建物焼損表面積	2,150m <sup>2</sup>		小型動力ポンプ(車輛に積載していないもの)		41	195	消防電話		96回線							
焼損棟数	578棟		手引動力ポンプ		0	21	加入電話		513回線								
り災世帯数	322世帯		広報車		58	10	救急指令装置		—								
火災による損害額	2,033,688千円		電源・照明車		3	3	消防費歳出決算額【E】		30,908,025千円								
出火率(人口1万人当たり)	3.85件		資材搬送車		38	18	普通会計歳出決算額【F】		803,638,144千円								
22年救急件数	救急件数		救急病	46,866件		水そう車		20	1	消防費財源内訳中の税等の額【G】		26,452,544千円					
			交通事故	9,825件		その他の車輛等		48	6	消防費に係る基準財政需要額【H】		30,068,078千円					
			搬送人員	73,160人		普通会計歳出決算額と消防費の割合【E】/【F】×100		3.8%									
	うち		救急病	43,658人		人口1人当たり消防費【E】/22.10.1		14,851円									
うち		交通事故	10,667人		人口1世帯当たり消防費【E】/22.10.1		41,963円										

(注)火災・救急件数は平成22年中